

平成 30 年度「立正大学研究推進・地域連携センター支援費」研究成果報告書

1. 種目 第 2 種

2. 研究課題名 発達障害児における運動訓練による社会性発達に関する研究

3. 研究代表者

研究代表者名		所属部局名	職名
こやま	けいた	法学部	特任講師
小山	啓太		

4. 連携研究者

連携研究者名		所属部局名	職名
マーク	ヘコモビッチ	ノーザンアイオワ大学	教授
ジュディ	チャンドラー	セントラルミシガン大学	教授

5. 研究実績の概要

当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、申請書に記載した「研究目的」、「研究計画・方法」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述して下さい。

本研究により、子どもが興味を示すボールすなわち工夫した学習用具を用いることが一つのきっかけとして、発達障害児および発達性運動協調障害児におけるボール投げ運動への興味関心を高める可能性を示したことは、学校や家庭での子どもの積極的な運動の促進と体力向上に関する一つの施策として、さらに研究を深めることの意義を感じる。また、本研究で使用した楕円形ボールによる投運動や握るなどの体力向上の運動において、子どもたちが大いに笑い、不規則に跳ねるボールを追いかけ走り、楽しく運動に取り組み、その中で運動の量的・質的改善が認められたことは、運動を楽しみながら知識と能力を伸ばす一定の効果があったと示唆する。さらに、運動によりコミュニケーションが促され、言語学習や知的活動に好影響を及ぼしたことは、発達障害児・者への運動療法の一つの手法として、今後さらに研究を進める意義を感じる。一方で、健常発達児を含め、子ども全体の投の運動能力や体力が低下し、ボールを力いっぱい投げるといった外での遊びが減少している現状では、安全な環境の確保、正しい指導や仲間の確保、遊びや授業として成立する手法など、検討しなければならない課題は多く、引き続き、さまざまな環境下における楽しいボール運動と効果的的手法について、子どもが興味関心を高め積極的に運動を体験し、感性を伸ばし、体力を向上する有効な施策について研究を続けることが必要であると考えます。

6. 研究発表（平成 30 年度の研究成果）

〔雑誌論文〕計（1）件 うち査読付論文 計（1）件

著者名	論文標題				
小山 啓太	子どもの興味関心を高め運動技能発達を促すボール投げ運動の研究				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
日本青少年センター紀要	有（査読中）				

著者名	論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	

著者名	論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	

〔学会発表〕計（2）件 うち招待講演 計（0）件

発表者名	発表標題		
小山 啓太	Motor Skills Training and Social Skill Development in Children with ASD		
小山 啓太	Social Skills Development through Motor Skill Training in Children with Autism Spectrum Disorder “Using an Ellipse Sensory Ball”		
学会等名	発表年月日	発表場所	
国際特別支援教育学会	2018年10月26-28日	ローマ大学	
世界教育会議	2018年12月10-13日	ケンブリッジ大学	

〔図書〕計（ ）件

著者名	出版社		
小山 啓太	ベースボールマガジン社		
書名		発行年	総ページ数
0歳からのボール遊び運動		2018	127

研究補助を受けた方は、「研究成果報告書」を提出していただき、ホームページ等で研究成果を公開いたします。研究成果が公開できない事情がある場合には、その理由を記述して下さい。

※研究成果を公開できない理由

--